

令和8年度 第3回 地域緩和ケア症例検討会 参加者アンケート結果

日時：令和8年6月10日（水）19：00～

症例発表：荘内病院

会場：荘内病院 講堂

司会者：高橋 牧郎

症例：食道胃接合部癌（77歳 男性）

参加者：29名

（会場：19名、

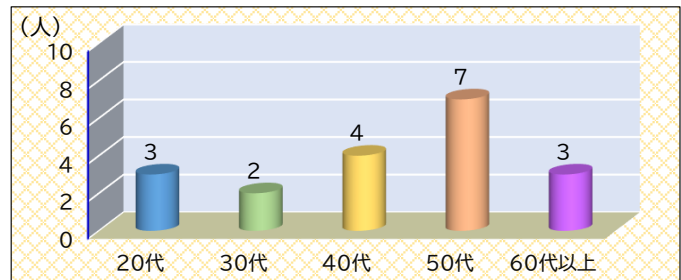
Zoom 10名）

アンケート 19名

Q1. あなたご自身について

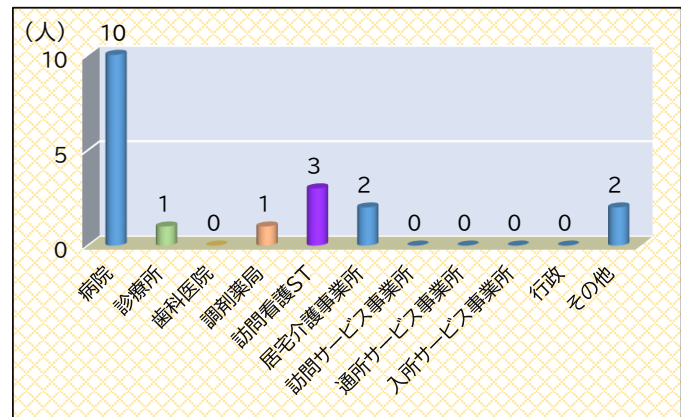
1-1) 年齢

20代	3
30代	2
40代	4
50代	7
60代以上	3
計	19



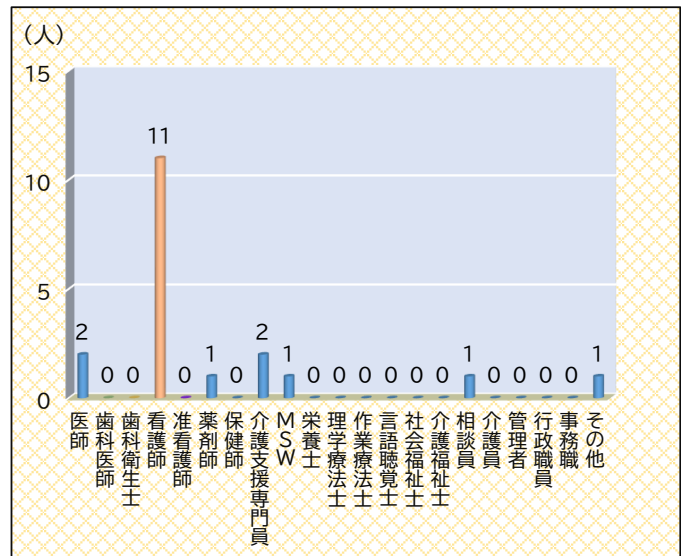
1-2) 勤務先

病院	10
診療所	1
歯科医院	0
調剤薬局	1
訪問看護ST	3
居宅介護事業所	2
訪問サービス事業所	0
通所サービス事業所	0
入所サービス事業所	0
行政	0
その他	2
計	19



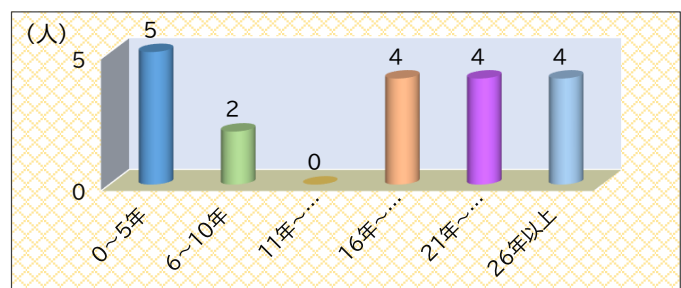
1-3) 職種

医師	2
歯科医師	0
歯科衛生士	0
看護師	11
准看護師	0
薬剤師	1
保健師	0
介護支援専門員	2
MSW	1
栄養士	0
理学療法士	0
作業療法士	0
言語聴覚士	0
社会福祉士	0
介護福祉士	0
相談員	1
介護員	0
管理者	0
行政職員	0
事務職	0
その他	1
計	19



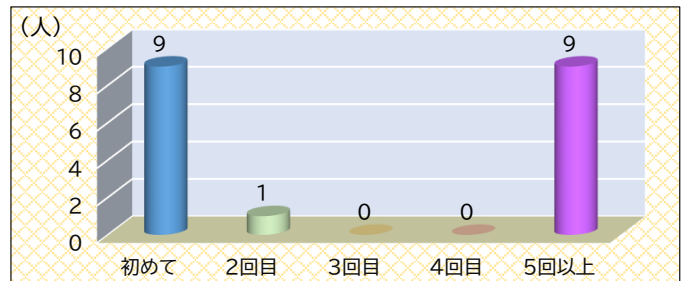
1-4) 現在の職業の経験年数

0～5年	5
6～10年	2
11年～15年	0
16年～20年	4
21年～25年	4
26年以上	4
計	19



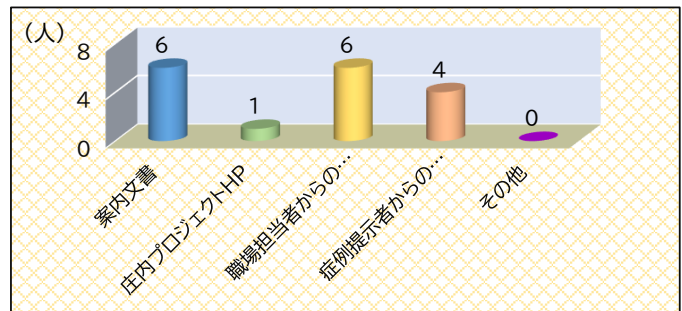
Q2. 症例検討会参加回数

初めて	9
2回目	1
3回目	0
4回目	0
5回以上	9
計	19



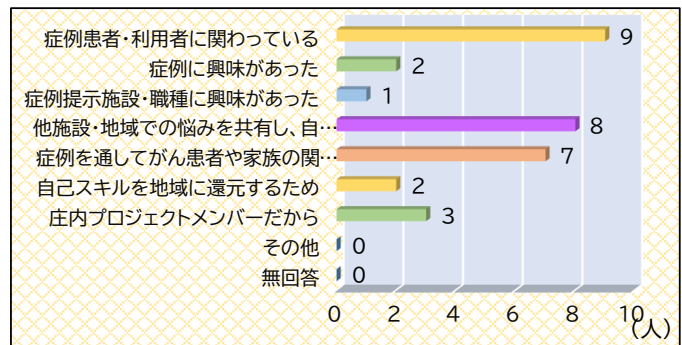
Q3. 症例検討会を何で知ったか (複数回答)

案内文書	6
庄内プロジェクトHP	1
職場担当者からの声かけ	6
症例提示者からの声かけ	4
その他	0
計	17



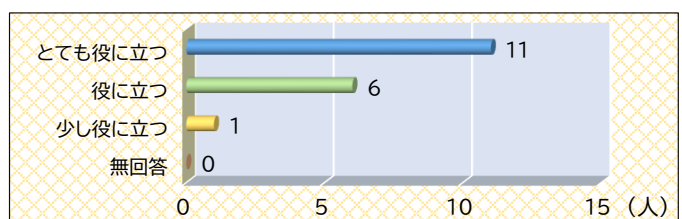
Q4. 参加の動機 (複数回答)

症例患者・利用者に関わっている	9
症例に興味があった	2
症例提示施設・職種に興味があった	1
他施設・地域での悩みを共有し、自施設で役立てる	8
症例を通してがん患者や家族の関わりを学ぶ	7
自己スキルを地域に還元するため	2
庄内プロジェクトメンバーだから	3
その他	0
無回答	0
計	32



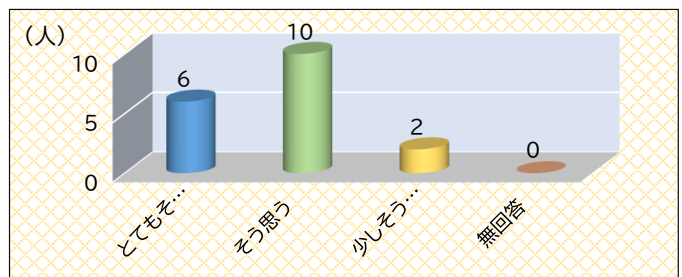
Q5. 症例検討会の役立ち

とても役に立つ	11
役に立つ	6
少し役に立つ	1
無回答	0
計	18



Q6. 次回の参加意欲

とてもそう思う	6
そう思う	10
少しそう思う	2
無回答	0
計	18



Q6. 次回も参加したいと思いますか？の理由

(11件)

- ・先生方がいつも親身になっていろいろな意見や温かい言葉で返してくれるので参加したいと思います。
- ・生活の場と治療の両立というか、折り合いというか、自分にはない視点から考えるきっかけになった。
- ・自分達ではわからない点について勉強になります。
- ・ケアハウスの中で似たような症例があるととても勉強になる。
- ・心理的サポートや病名毎の関わり方等、スキルアップにつながると思うため。
- ・様々な視点での考えを聞くことが出来、症例に対する対応方法など学ぶことができるため。
- ・多種目でそれぞれの現状を話しあえてよかった。
- ・病院外の多種目の意見をきくことができたため。
- ・ケアハウスについて情報あり勉強になりました。
- ・他施設の関わりが学べる
- ・新しい視点、毎月の様にでてくるので、また学びたいと思いました。

Q7. 困っている症例

(0件)

Q8. ご意見・ご質問

(5件)

- ・今回の症例を読めばすぐに他の看取りができる施設に移るしかないじゃないかと考えてしまいましたが、本人のケアハウスで生活を続けたいという気持ちを最大限に尊重してケアハウスの方もケアマネージャーも病院関係者みなさんが悩まれて寄り添って素敵だなと感じました。きっとこの方に関ってもらえば本人は満足のいく選択ができると思います。
- ・立場の違う職種の方からの情報は本当に勉強になります。一人の方に対しての多方面からの見方がありがたいです。
- ・医療と介護の連携については、今後も重要視されてくると思います。
- ・ケアハウスについて、今まで知らない事を知ることができた。
- ・ケアハウスの施設の関わりが良く分かった。治療を応援する職員の気持ちを知ることができた。

